



# 知っていますか? 認知症

誰もが笑顔で過ごすために

問い合わせ 高齢者福祉課(市庁舎2階、☎65・4145)

認知症の症状や接し方を学ぶ「認知症サポーター養成講座」(帯広第二中学校の皆さん)



認知症への理解を深める「認知症支援スキルアップ研修」



認知症の人もそうでない人もひとつのタスキをつなぎ  
ゴールを目指す「RUN伴2019」

## 認知症ガイドブックを更新

認知症ガイドブックは、認知症を早期発見するためのチェックリストや、症状の進行に合わせ、いつ・どこで・どのような医療や生活支援サービスが受けられるのかなどを掲載している冊子です。

今年度は、認知症予防や自動車の運転に関することなどの内容を充実させました。

ガイドブックは、高齢者福祉課、地域包括支援センターなどで配布しているほか、市ホームページにも掲載しています。



▲こちらから

認知症は、さまざまな原因で認知機能が低下し、日常生活や社会生活での支障が6カ月以上継続している状態をいいます。決して特別な病気ではなく、誰もがなる可能性がありますがある身近な病気です。

世界保健機関(WHO)と国際アルツハイマー病協会は共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」に制定し、日本でも9月を世界アルツハイマー月間として認知症への理解を呼び掛けます。認知症の疑いがある場合、早めの相談などの適切な対応が、早期発見やその後の生活をより良くするために重要です。

市では、高齢になっても住み慣れた地域で生き生きと暮らせるよう支援する相談窓口「地域包括支援センター」を、市内8カ所に設置し相談を受けています。

認知症に関する相談は年々増加しており「物忘れが多く心配」「家族を受診させたいがどうすればいいか」など、さまざまな悩みが寄せられています。少しでも心配なことがや気になることがあれば気軽に相談してください。

次頁では、身近な人が認知症になったとき、認知症を理解し、家族や地域で見守っていくために役立つ、市の取り組みを紹介します。

## 認知症は身近な病気

## 気軽に相談してください 「地域包括支援センター」

## データで知る帯広

### 7月末の人口と世帯数

人口▶166,252人  
(前月比-20人)  
男▶79,274人  
女▶86,978人  
世帯▶88,187世帯  
(前月比+85世帯)

### 7月の火災発生件数

1件(前月比±0件)

### 7月の家庭ごみ排出量

ごみ量 2,588t  
(前年同月比+58t)  
資源ごみ(Sの日)量 644t  
(前年同月比+21t)

## 今月の紙面

### リサイクルを楽しむ…10



9月28日～10月27日は秋のごみ減量・資源化促進月間です。その皮切りに、不用品をリサイクルして楽しむイベントを開催します。

## 市長への手紙

まちづくりに皆さんの声を生かします。7頁に専用の用紙を掲載していますので、ご意見、ご要望などをお寄せください。



帯広市の広聴 検索